



門出に寄せて 富岡中学校がひとつになる

副校長 久保 友子

穏やかな春の陽ざしに包まれた3月9日、第49回卒業証書授与式を挙行いたしました。

「緑学年」233名の3年生が富岡中学校から晴れやかに巣立っていきました。まん延防止等重点措置が延長され、感染拡大防止のために保護者の皆様には式場から離れた教室で中継放送を見ていただきました。式場には職員と1・2年代表生徒のみの参加となり制限が多い式でしたが、中継カメラを通して心を繋ぎ、保護者の皆様にあたたかく見守っていただく中で進められた式でした。

式場の体育館へと向かう廊下には、1・2年生からのお祝いメッセージがあふれていました。

「1・2年生を引っ張ってくださりありがとうございました」「何事にも全力で取り組む姿勢は私たちの憧れでした」。3年生はメッセージをかみしめながら一歩を踏み出したことと思います。

前日に行った「3年生を送る会」では、感謝のメッセージや応援の千羽鶴を渡す動画が放送されました。中庭で3年生をお見送りしてお祝いするとともに、1・2年生が富岡中学校を引き継いでいくことを感じる大切な日となりました。特に2年生は、送る会の企画や式場作りに熱心に取り組み、学校の中心となって卒業生の門出を支えてくれました。

式の中では、3年生全員が緊張感ある立派な姿を見せてくれました。校長から一人ひとりに「おめでとう」の言葉を添えて卒業証書が渡されると、笑顔を見せ深々と礼をして応えました。卒業生代表の東さんの「別れの言葉」には、不遇な3年間であっても毎日が楽しく充実したものであったことが綴られ、輝かしい未来への可能性と決意が語られました。

卒業生合唱「信じる」。2年間にわたって合唱コンクールが中止となり、「卒業式には集大成となる歌を…」そんな想いを託して歌われた曲が「信じる」でした。練習時間の制限にもマスクにも負けず、体育館いっぱい歌声が響き渡りました。身体全身を揺らして音楽を感じ歌いこむ姿に、何かを表現することが大好きな学年であったことが伝わりました。

最後の学活を終えた3年生は、保護者の皆様の大きな拍手に迎えられ巣立っていきました。

緑学年の3年生は、この3年間、何かを企画しては延期や中止を余儀なくされ、それでも自分達で試行錯誤して新しいことにチャレンジしてきました。何かを成し遂げたいというエネルギーに満ちた学年でありました。また、3年生が導いてくれた日々の積み重ねが1・2年生の力となり、卒業を通して全校がひとつになる瞬間を感じました。これからも、自分の可能性を信じて、大きく成長して行ってほしいと願います。



式の実施にあたり、地域の皆様、保護者の皆様には多大なるご理解とご協力をいただきました。職員一同感謝申し上げます。引き続き、富岡中学校を見守っていただけますようお願い申し上げます。

学校長式辞【要旨】

233名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

皆さん一人一人に直接卒業証書を手渡すことができました。今年こそは、在校生や保護者の方々にも参列していただくつもりでしたが、残念ながら3年連続で会場は卒業生だけの式となってしまいました。皆さんにとっては、中学生の三分の二がコロナ感染症対策という重い積み荷を背負いながらの、学校生活でした。2年のスタートでは一斉臨時休校があり、授業の開始は6月からでした。その後も分散登校や午前授業など様々な制約のある中で、今日を迎えました。3年生が集まった姿を直接後輩に見せる機会はありませんでしたが、皆さんの普段の授業に向かう姿勢や挨拶をする様子、また委員会活動や部活動で中心となって活躍する姿は、後輩の良き手本となりました。富岡中の伝統はしっかり引き継がれていくことでしょう。

コロナ禍の中でできることを皆さんと一緒に考え、実行してきました。修学旅行も日程や内容を変更し、最後まで実施に向けて取り組んでくれました。やむを得ず中止となってしまいましたが、みんなで取り組むことで価値が生まれることを理解してくれたと信じています。

3月の学校便りで、「利他の心」と仏教用語の「忘己利他」という内容を皆さんに伝えました。己を忘れて他を利する。という精神ですが、自己犠牲だけを伝えているわけではありません。天台宗を開いた最澄が弟子たちにした『山家学生式』（さんげがくしょうしき）の冒頭で、

「国宝とは何物ぞ 宝とは道心なり 道心ある人を名づけて国宝となす

径寸十枚、これ国宝に非ず 一隅を照らす これ即ち国宝なり」と 伝えています。

「一隅」とは、片隅という意味ですが、自分のいる場所や置かれた立場を指します。お金や財宝が国の宝ではなく、それぞれが自分の置かれた場所で、精いっぱい努力し、明るく光り輝くことのできる人こそが、国の宝なのです。皆さん一人一人が輝くことで、やがて社会全体が明るく照らされていくことでしょう。「一隅を照らす」人になってくれることを願っています。

令和4年3月9日 横浜市立富岡中学校長 山我 智康

卒業式の様子



卒業式 別れのことば 【要旨】

三年前の春、私たち緑学年は、不安や緊張を胸に、富岡中学校に入学しました。最初の校外学習は、野島遠足でした。バーベキューでは、焼き立ての食材を皆でにぎやかに食べたことも楽しかったです。創夢祭では、育んだクラスの団結力を発揮することができました。合唱練習は、実行委員や指揮者、伴奏者、パートリーダーを中心に行いました。練習の過程で、はじめはバラバラだったクラスが、練習や話し合いを重ねていくことで、一体となっていきました。本番ではどのクラスも、全力を出し切り、会場に素晴らしい歌声を響かせました。

二年生の進級直後に、休校や分散登校、短縮授業の措置がとられ、クラスメイトが全員揃うまでに、一月以上かかりました。また、部活動や委員会の活動にも制限がかかるなど、これまでに経験したことのない事態に陥りました。しかし、それでも私たちの繋がりは、失われることはありませんでした。特に、みなかみでの自然教室では、それがよく表れていたと思います。三日目に全員で行った稲刈り。きっと、多くの人が初体験だったと思います。普段何気なく食べているお米よりも、私たちが収穫したものは、格段においしかったです。私たちは普段の調子を徐々に取り戻していきました。

そして迎えた三年生。体育祭は、唯一、三年間を通して実施できた学校行事でした。運動が苦手な人も、応援で競技を盛り上げ、全校一丸となって楽しめたと思います。体育祭で盛り上がった種目といえば、「大縄」です。運動が苦手な人も、得意な人のアドバイスを受けながら、最後には飛び切ることができました。回数も、一年生の頃とは比べものにならないくらい増えていきました。その成長の記録は、私たちの努力の結晶です。修学旅行は残念ながら実施できませんでしたが、その分映画鑑賞から始まり、にぎわい座での落語鑑賞、球技大会、お楽しみ会、百人一首大会、そして相模湖への卒業遠足など、卒業式の直前まで続いた行事、その一つひとつがかけがえの無い思い出になりました。

在校生の皆さん、これからの富岡中学校を担うのはあなた達です。どうか、あなたたちだけの、富中を一から創り上げてください。そしていつか、その景色を私たちにを見せてください。

そして、先生方。三年間、私たちを見守ってくださり、ありがとうございました。間違えることも、失敗することも、たくさんありました。それでも今ここで、無事に卒業式を迎えられているのは、先生方のご指導のおかげです。卒業したあともどうか見守っててください。また会える機会があることを楽しみにしています。

最後に、十五年間、私たちを支えてくれた保護者の皆様。いつも一番に私たちのことを考え、嬉しいときは一緒に喜んでくれたり、落ち込んでいるときは、寄り添ってくれたりしました。感謝してもしきれません。これからも、心配をかけることがあると思いますが、よろしくお願いします。

私たち緑学年233名は、今日、この富岡中学校を卒業します。

私たち一人ひとりが飛行機だとするならば、夢というのは、私たちに推進力を与えてくれます。そこに努力という名の燃料を積んで、空へと飛び立ちます。たとえ雨が降っても、いつかは止んで虹がかかります。

私たちが一堂に会するのは、おそらく今日が最後です。明日から、私たちは、それぞれの夢を追いかけながら、それぞれの空を飛んでいきます。この富岡中で過ごした思い出を胸に、未来へと進んでいくことを誓い、別れの言葉といたします。

卒業生代表



横浜市立富岡中学校 令和4年度 主な行事

4月 7日(木)	始業式・着任式・入学式
8日(金)	離任式
14日(木)	学級懇談会
19日(火)	全国学力・学習状況調査
26日(火)	横浜市学力・学習状況調査
5月9～13日	授業参観週間
31日(火)	創立50周年記念体育祭
6月4日(土)	土曜授業 地区別集会 学家地連役員会 【6日(月)代休】
7日(火)	創立50周年記念全校写真撮影(航空写真撮影)
16～17日	前期中間試験
7月4日(月)	生徒総会
12～15日	個人面談
21日(木)	夏季休業(～8月28日)
9月7～9日	前期期末試験
20～22日	2年自然教室(長野県野沢温泉村)
21～23日	3年修学旅行(京都・大阪)
10月7日(金)	前期最終日
10月11日(火)	後期開始
12or13日	個別支援級合同体育祭(三ツ沢競技場)
13日(木)	学級懇談会
17～21日	授業参観週間
27日(木)	創立50周年記念創夢祭(よこすか芸術劇場)
28日(金)	創立50周年記念式典(富岡中体育館)
31～4日	3年個人面談
11月7～8日	個別支援級合同宿泊学習
16～18日	中間試験(1, 2年は17、18日)
30日(水)	2年職場体験
12月5～8日	個人面談
16日(金)	生徒会役員選挙
24日(土)	冬季休業(～1月9日)
1月31日(火)	3年学年末試験
2月20～22日	1, 2年学年末試験
3月	卒業式
	職業講話
24日(金)	修了式

※令和4年3月時点での予定です。

卒業式の日時は、公立高校入試の日程が決定した後に決まります。